

Weekly

尾張旭ロータリークラブ

- ・会長 桜井 雅博・幹事 菊田 利昭・公共イメージ向上委員長 谷口 亜弥
- ・例会日 毎週金曜日 12:30
- ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3 尾張旭市商工会館内
- ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
- ・E-mail: jimuwari@sahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org



2021-22 年度地区方針

「チェンジロータリー 新時代への成長に！」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

本日 第2401回 2021年7月16日(金) No. 2282

本日のプログラム Today's Program 卓話担当者: 奉仕プロジェクト委員会・ロータリー財団委員会

点 鐘 12:30 卓話者: 西尾 輝久職業奉仕委員長・飯田 幸雄ロータリー財団委員長

唱 和 「四つのテスト」 演 題: 「委員会事業説明」

前回 第2400回 2021年7月9日(金) 記 録

- 静聴: 「我等の生業」
- 出席者: 会員 23 名中 18 名出席 出席率 78.26%
- 来訪者: 地区大会幹事(名古屋錦RC)

石井 弘子さん
地区大会実行委員会プロデューサー
三浦 俊彦君

会長あいさつ 桜井 雅博



本日の来訪者を紹介致します。地区大会幹事の石井弘子さんと地区大会実行委員会プロデューサーの三浦俊彦さんです。後ほど地区大会のPRをして頂きます。

また、本日は今年度例会のメインイベントでもあります、健康トレーニングが始まりますので、会長挨拶は手短にしたいと思います。

お手元にお配りした、メルマガCOPY文を参照願います。

「ロシア政治経済ジャーナル No.99 北野幸伯 <info@rpejournal.biz>

【RPE】★習近平、大いなる勘違い(中共100周年演説)

前回の例会でお配りした「家族大切主義が日本を救う」の著者である北野氏のメルマガを、私は10年以上愛読しておりまして、彼の中国に対する予見は、今までも非常に的確でありました。今般北野氏は7月1日に実施された、中国共産党 創建100周年の習近平の大演説を分析して、30年間の恐怖と停滞をもたらした「毛沢東路線」に逆戻りしていると指摘され、これからの中国の凋落を予想しております。また、習近平は台湾統一も強く宣言しております。日本国民としては、隣国のことでも有り、今後その動向に対して、大いに注目していく必要があると思います。

幹事報告

- ・7/2(金) 森 和実尾張旭市長へ表敬訪問 於尾張旭市役所 桜井会長・菊田幹事 出席

	7月23日(金)	7月31日(土)	8月6日(金)	8月13日(金)
例 会 予 定	休会 定款により休会	創立50周年 記念式典及び懇親会 (30日振替) 於: 名古屋東急ホテル 式典: 16:00~	卓話担当者: 桜井会長 卓話者: 〃 演題: 「クラブフォーラム」	休会 定款により休会

・7/2(金)中日新聞瀬戸支社へ表敬訪問 桜井会長・菊田幹事 出席

・第9回ワールドフード+ふれ愛フェスタチケット購入のご協力をお願い致します。 1冊 ¥2,000

7月2日 (金) 卓話

「会長所信表明」

会長 桜井 雅博

お手元にお配り致しました、「クラブ計画書」を参照して頂いて、卓話のお話しを致します。2021-22年度のRI会長のシェ

カール・メータ氏は、今年度の国際ロータリーのテーマを「SERVE TO CHANGE LIVES—奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」と提唱され、具体的な実践の場として「ロータリーの奉仕デー」を推奨されました。それを受けて、RI第2760地区、地区方針は、今年度ガバナーの杓名俊裕氏より「チェンジロータリー 新時代への成長に！～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～」と設定されました。

また、今年度地区ガバナーの杓名俊裕氏は、チェンジロータリーの行動方針として「積極的に広報活動を行うことで、ロータリークラブをもっと知ってもらおう」を掲げられました。さらに、会員の基盤を広げる為に、会員一人が一人以上の人に声をかける努力目標を掲げられています。その為には、まずは各会員自身が、クラブ活動が楽しくなければ、他の人への継続した声掛けは難しいと思います。そして、会員増強が継続的に出来なければ、組織存続は難しくなります。そこで、今年度の第二例会には、生涯現役を目的に、健康トレーニングを実施致します。参加して楽しい例会を企画していきたいと思います。

次に、チェンジロータリーの先に、私が三年前に読んだ「家族大切主義が日本を救う『日本の生き筋』」に示された、明るい日本の未来の姿を、是非会員の皆さんと共有したいと思います。この書籍を会員の皆様に寄贈させて頂きたいと思います。この本には家族大切主義の理念に基づいて、様々な解決方法が具体的に記載されていると思います。私としては、娘が三人おりまして、三人とも無事に嫁いでありますが、彼女たちの旦那さんに、この書籍をプレゼントして、家族大切主義を守って頂くようお願いしました。日本の社会に今まではびこっていた、家庭を犠牲にした会社中心の会社主義から、まずは家族を大切に、家族中心主義を、婿さん達には目指して頂きたいと願っており、出来るだけそのように私も協力していきたいと思っております。私の若いときはほとんど出来ませんでした。

次に、お手元にお配りした、「11月28日(日)50周年記念講演会」企画案の説明をさせて頂きます。所謂客寄せ目的の講師選定ではなく、J CやR Cへの講演実績がある、経済に強い講師を検討しており、講師候補の北康利氏は、現在は評伝作家であり代表

作として、2005年(平成17年)に『白洲次郎 占領を背負った男』で山本七平賞を受賞。私とは、Facebookの友達繋がりで、eメールで随時情報交換等を行っています。本日の理事会で正式に講師として承認を頂きたいと思っております。講演のテーマは、「渋沢栄一に学ぶ社会奉仕の道」 サブテーマ「論語と算盤」の美学について・・・です。現在は、日本の国としての根幹理念と経済の再起動が、喫緊の課題であり、新しいリーダー像が必要と思います。若い世代には、単に講演会で聴講するだけでなく、継続的な次に繋がる行動を喚起する！ことを目的としたいと思います。この講演への勧誘活動を通して、若い世代への自発的な「チェンジ・インスパイア」の妄想とアクションを促す起爆剤になればと期待しております。北康利氏のアドバイスで、NHKテレビの「明治神宮の森づくり」を観たのですが、ロータリークラブの川上の水源である森(各地域)は、持続可能な設計を考え、その理念に沿って常に見守り、大切にしていく必要があると、考えた次第です。したがって、継続して発展していくクラブの水源としての地域づくりは、クラブの継続発展のためにも非常に重要な奉仕活動であると考えます。講演会の企画推進につきましても、宜しくご支援の程お願い致します。



「委員会事業計画」 クラブ管理運営委員長 菊田 利昭

本年度クラブ管理運営委員長を務めます。1年間よろしくお願いたします。

クラブ管理運営委員会は、例会運営委員(SAA)・プログラム委員・ニコボックス委員・親睦活動委員・会計委員の5つの委員会をまとめております。

例会運営委員としては、本年度から新しい区切りの時代に入り、新しいメンバーも増え、我がクラブの伝統を守りつつ、今以上に活気のある例会を目指し例会の意義、出席の義務を理解してもらいたいです。

プログラム委員としては、出席するのが楽しく、また、継続して出席していただけるような例会にします。

ニコボックス委員としては、ロータリーの奉仕活動の財源となる寄付を会員の皆さんから広く募り、奉仕活動のさらなる活性化を図り、ニコボックス活動を通じて、会員の皆様が和気藹々と集い、繋がりを豊かにできる雰囲気をつくりたいです。

親睦活動委員としては、コロナの関係でどうなるかわかりませんが、平均年齢も低くなってきているので、皆様から喜ばれる活動がしたいです。

会計委員としては、会員への会計方針の説明し、50周年記念事業を完結させます。2021-2021年度の会計方針については、会員に理解を深めていただくよう説明をします。また50周年記念事業として、11月28日の講演会の案内状作成費、12月の記念誌の印刷について会計計画を策定します。



「委員会事業説明」 公共イメージ向上委員長

谷口 亜弥

今年度クラブ公共イメージ委員長を務めさせていただきます。初め

での委員長という重大な責務にいよいよ緊張しております。先ず今年度の会報バナーですが、同委員会先輩のアドバイス、ヒントをいただきまして、3か月クールで背景に四季を感じて頂けるようなデザインを作成いたしました。コロナ禍で中々外出もままならず、風情を楽しむことも厳しい世の中ですが、毎週会報をご覧いただくことで、少しでも季節を感じて頂ければとの思いでデザインしました。そして、この公共イメージ委員会の責務とは何か、2680 地区委員会ホームページによりますと、「公共イメージ委員会は、ロータリークラブの存在を一般市民にご理解をいただくための活動に重点を置き、認知度の向上を目指すのが課題。ロータリアンの皆様の意見を様々な角度から見極め、重要なサポート役として効果的なクラブ運営、会員基盤の向上等、ロータリーの価値観を高めていく。」という記載でした。委員会メンバーのスキルと関心を考慮しながら、責務を上手に割り当てて向上を目指していくのが良いのでは、と考えております。その中で、経験豊かな会員の皆様より貴重なご意見を頂戴しながら活動を行って行ければ、益々の飛躍ができるのではと感じております。コロナ禍ではありますが、クラブメンバー皆様と何かしらの方法でコミュニケーションを図りながら情報交換を行って行ければと願います。そして、他の委員会の皆様と共同作業を通じ協力し合い、尾張旭ロータリークラブ全体のインパクトを最大限に高めていきたいです。クラブ全体でいかに目標を達成できるようにするか試行錯誤する行為は、メンバーの結束がより強まる作業もあり、今年は親睦を深め合う機会が再び戻って来ること切に願います。更には効果的にロータリークラブを知ってもらうために、公共イメージ委員会に何ができるのか。私自身の活動で申し上げますと、地域のラジオ局でパーソナリティとして定期的に活動させていただいている立場を時に有効的に活用し、番組にロータリーメンバーをゲストで招き活動内容やイベントの宣伝をして行ければと考えます。また委員会内で達成可能な小さな目標を立て、それを達成することにより、クラブと地域社会に恩恵がもたらされる仕組みが定期的に目に見え、より遣り甲斐を感じるのではないかと考えます。例えば今期の公共イメージ委員会の活動方針は、昨年に引き続き「ホームページ・SNSを益々充実させ、定期的に発信することで、外部の周知を図っていく。」ですが、それに対し我々は、Facebook・Instagram ページの「いいね！」数を「〇〇の記事

を拡散することで5%増やす！」等、わかりやすい短期目標を設定する工夫です。このように活動内容や報告をインターネット上に定期的に発信、更新することはもとより、より魅力あるページにする努力や、連絡先や情報を見つけやすくする為の工夫も、楽しみをもって活動できればと考えます。今年一年、委員会で協力し合い、尾張旭ロータリーの認知度アップに貢献していきたい所存です。

尾張旭ロータリーの強みは、他業種の素晴らしいメンバーが在籍する点が挙げられます。そして何より仲の良さだと感じています。この強みを生かすクラブの活動内容が、お一人お一人の知識や経験を活かす良い機会となり、楽しく活動できること。それにより活動に充実感を感じる事が良いクラブ運営に繋がると思います。周囲から見ても活気あるクラブであることは、結果、会員増強に繋がります。入会候補者の方がクラブ内での行事や奉仕活動にスムーズにお招きできる環境設定を充実させることも、会員増強に繋がるのではないかと考えます。

おしまいになりますが、我々会員全員がクラブの顔であり、お一人お一人の素敵な人間性や言動がクラブのイメージ向上に繋がっています。職場や交友等、ロータリー以外での会員皆様の活動が入会候補者の方の関心を引き、クラブについて広く知らせる機会となります。口コミや評判で広まることもありますので、会員全員でロータリーの活動や知識を持ち、ロータリーの使命や価値観を、周囲に広めていけると良いのではと考えます。若輩者ではありますが、一年間誠心誠意努めさせていただきます。皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。この度はご清聴ありがとうございました。



「委員会事業説明」 SDG's 委員長

森井 晴生

SDG's を考える時、必ず話題が、世界、地球という大きなテーマに直結し、自分には関係ない、私一人では何も出来ない、と思いがちな人が多い。しかし今回の新型コロナウイルスのパンデミックでも明らかのように、ウィルスが特定の地域の一人から発生して世界中に広がり、一億八千万人以上の人が感染し、四百万人以上の死者を出しているという事実からも私達は、「私と世界」「私の地域と世界」は繋がっているのだ、という「地球市民意識」を一人一人が持つことが重要。その上でSDG'sの「誰ひとり取り残さない」という理念を強く持って私達の地域には取り残された人や問題がないか、という問題意識を常に持って、地域に対し出来る奉仕活動を進めて行きたい。

また、地区行動方針の⑤に「カーボンゼロ」を提唱されていることを受け、個個人や小さな単価で出来る「カーボンニュートラル」「カーボンオフセット」についてしっかりと知識を深めていきたいと思う。